

宇都宮民報

発行
日本共産党
宇都宮市委員会
弥生1丁目7-11
旭コーポ1階
634-8722

日本共産党発行



9月議会終る

9月定例会市議会は、30日、本会議を開き、平成26年度一般会計及び特別会計決算・企業会計決算の認定や補正予算案などを採決。また、議員提案の「LRT事業の賛否を問う住民投票条例案」や陳情などを採決し、閉会しました。

市主体の第三セクター

LRT新会社への出資を強行

佐藤市長と市議会（自民、自民ク、公明など）

公設民営上下分離方式 破綻
市主体の第三セクターに急旋回

この九月議会は、直前に佐藤市長が強引に進めてきたLRT導入計画の公設型上下分離方式で、運営を担う民間事業者が、公募したのに一社も現れないという重大な事態が生じました。ところが、市長は、議会にも市民にも説明責任を果たさないうまま、宇都宮市が出資主体となる、市民負担のリスクが高い第三セクター方式へと急旋回したなかで開催されました。

市民置き去りのまま
LRT建設計画 重大な段階に

そして、佐藤市長は、第三セクター、新会社の資本金の内、市出資金分の6120万（今後大きく膨らむ）の補正予算を提出、自民・自民ク・公明などによって可決されました。

これによって、宇都宮市のLRT建設計画は、国による建設許可事務の手續きに向けて大きく踏み出す段階を迎えることになりました。

市民の声で今議会も論戦賃く

日本共産党は採決に先立ち、荒川つねお議員が「一般会計などの決算認定とLRT新会社出資金提案の補正予算案」に反対の討論。福田くみ子議員が市民団体などからの「LRT導入計画白紙撤回、住民投票を求める陳情」2件の不採択に反対の討論を行いました。

共産・市民連合・統一・市民四会派

住民投票条例案を共同提出

議会四会派は、LRT計画の導入を可とするか、不可とするかを市民に問う条例案を提出。

建設常任委員会に附託され、荒川議員は、「国への事業認可申請にあたり、住民合意形成が大前提であり、住民投票で市民合意の是非を確認することは当然」と主張。反対派と激論を繰り広げました。採決では、条例案賛成3、反対5で否決。続く本会議でも14対30で住民投票条例案は三度否決となりました。



議会活性

6会派7人が討論

共産党、市長の姿勢厳しく指摘

議案第87号 補正予算

荒川議員 反対討論（大要）



LRT新会社出資金の補正予算計上は断固反対する。破格の好条件を示したのにLRT運営民間企業が現われなかった。これは、公設型上下分離方式の上部の破たんである。ところが、市長はその失敗を何ら検証せず、市民の血税をさらに投入する市が主体の第三セクターへと運営の根幹の急な大転換を行った。議会・市民への説明責任を放棄した。この拙劣・強引な手法は、市政の民主的運営とは縁もゆかりもないものだ。LRT計画は巨大公共事業だ。市民合意・賛同の客観的証明も示せない進め方は許されない。LRT導入の是非は市民の利益のために判断すべきであり、二元代表制を補完する住民投票で市民参画を保証することに議会の大義がある。拙速な予算は削除を求める。



陳情第3号・第7号
LRT導入計画の白紙撤回や
住民投票実施に関する内容
福田くみ子議員
不採択に反対の討論（大要）

この二つの陳情の趣旨は、多くの市民の当然の思いとして議会は正面から受けとめるべきである。自治基本条例は、自治体の憲法であり、市政への市民参画を促す民主主義の発展の成果である。住民投票は議会制度を補完し、住民の総意を的確に把握する合理的手法。「住民投票は議会軽視」なる意見は時代錯誤だ。今なぜ改めて住民投票の実施を求めるのか。第一は、地域公共交通総合連携計画の市民の代表たる議会の役割である。市長の住民投票の決断を後押しする陳情は採択すべきだ。

核廃絶・反戦平和・女性の権利・子どものしあわせ・・・



五つの目的実現のために今こそ力を

新日本婦人の会宇都宮支部が「50周年を祝う会」

女性の願い実現のために
半世紀
ますます輝き放つ

新日本婦人の会は、1962年10月19日、平塚らいてう、いわさきちひろなど各界の女性13名の呼びかけで、創立されました。

宇都宮支部はその3年後の1965年11月14日に支部が誕生し、今年50周年を迎えました。

これを記念して宇都宮支部では、9月27日市内で「支部誕生50周年を祝う会」を開催、支部創立にかかわった先輩方々や、多くの来賓、会員のみなさんが集い歴史を振り返りつつ新たな展望を語り、交流を深めました。

荒川つねお、福田くみ子両市議も来賓として参加。荒川市議が連帯のあいさつを述べました。

また、宇都宮支部の支部長、事務局長を長く務め、県委員としても宇都宮支部に深くか

かわってきた斎藤和子さんが講演し、歴史を振り返りました。

手作りの会に
笑顔あふれて

スライドショーや、記念誌による支部の歩み、秋の香りといったのサツマイモの和菓子、小組活動の写真や作品の展示など、新婦人らしい手作り感満載の祝う会となりました。

各地の「スタンディングアピール」なども紹介

また、核兵器廃絶や女性の権利や子どものしあわせなど、新婦人の5つの目的は、脈々と受け継がれています。安倍自公政権による安全保障関連法の廃止を求める運動が、それぞれ地域の班によって「スタンディングアピール」などの形で行われていることなども紹介されました。

関東・東北豪雨による 災害対応補正予算 全会一致で可決

- ・小災害見舞金 2,181千円
 - ・農作物等への被害に対する支援 50,542千円
 - ・農地復旧等 20,690千円
 - ・林道修繕等 16,400千円
 - ・道路河川応急修繕等 497,000千円
 - ・その他 10,000千円
- 合計686,813千円

床上浸水などの家屋の被害を受けた世帯などは、小災害見舞金(5万円)のみ。実態に見合った支援が求められています。

私たちはあきらめない

戦争法廃止の政府を

安全保障関連法成立後、日本共産党の志位和夫委員長は、「安保法制廃止の国民連合政府の実現を」を呼びかけ、さっそく野党協力に向けて話し合いを始めています。

「戦争法廃止の国民連合政府」

提案の3項目

- 戦争法廃止、安倍政権打倒のたたかいを
- 発展させる
- 戦争法廃止の「国民連合政府」をつくる
- 政権構想に合意した野党が選挙協力をする

党市議員団では、さっそくこの提案を市民のみなさんに届けるために、宣伝を開始しています。また、地域の支部などでもサイレントスタンディングや、リレートーク、署名などの取り組みが、法律成立後さらに広がりを見せています。

定時・定点宣伝行動に
ぜひご参加ください

毎週木曜日
16時30分から
宮の橋上にて

この運動をさらに広げるため、条件の許す方は、ぜひ一緒にアピールに参加してください。



国民連合政府実現の提案を呼びかける左から野村県議、福田・荒川市議

日本共産党宇都宮市議員団
定例無料

市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅
道路・交通安全・その他なんでも・・・

日時 10月10日(土) 午後2時~
11月14日(土) 4時まで
会場 両日とも

宇都宮市総合コミュニティセンター 第2創作室

連絡先 日中 TEL632-2622 (党市議員団控室)
土・日・夜間 TEL634-8722 (党市委員会)
相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡をお願いします。
秘密厳守します。弁護士が協力します。

【お説びと訂正】前号(876号)の裏面、荒川つねお議員の9月議会報告の記事中、「国民生活保険であるはずの日本でこの病根の事実」は正しくは「痛恨」でした。お説びして訂正します。